

## 主の御名を賛美し

ます。

新年が明けました。  
今年もどうぞよろしく  
お願いします^^

今回も年末年始に  
お休みをいただき、実家に帰省する  
ことができました。

が…帰省前日に胃腸風邪でぶっ倒れ苦しむとい  
ういつもの展開になり（もう恒例化しつつありま  
すね）、本当に帰省できるかドキドキしまし  
た。美砂子姉に助けていただき、事なきを得まし  
た。ありがとうございました。（;）

そんなことがあったので帰省後前半はあまり使  
い物にならず（笑）、しかし強制的に休まざるを  
得ない状況になったからこそ、2016年の1年を  
振り返ったり、これから先の新しい1年のことや  
今後の自分の働きについて、ゆっくり考えること  
ができた時間にもなりました。



◀高校時代に部活で切磋琢磨  
した友人たちにも久しぶりに  
会ってきました。一番右端に  
いるのが高校時代にお世話に  
なった恩師です。みんなで集  
まるときには大抵先生もいま  
す^^

後半は元気を取り戻し、久しぶりに高校時代の  
友人に会ったり、可愛い6歳の従姉妹と一緒に札  
幌に遊びに行ったりと、心身共にリフレッシュし  
て名古屋に帰って帰ることができました^^

過去のニュースレターを辿ると、「アクティブ  
に、自分らしく」というのが昨年の抱負だったよ  
うです。休日に出かけたり、キャンプや帰省など  
を含めると、だいたい1ヶ月に一度は県外に出  
たので、その目標は達成できたように思いま  
す…。（笑）

今年も色んなことに挑戦したいですが、せっか  
く車が与えられたので、車で色んなところに行  
てみたいです。一人だと寂しいので中高生とど  
こかにドライブしに行くのを目標にしたいと思いま  
す^^今年もよろしくお願いします！！

## -12月の主なはたらき-

- 12/4 ユース礼拝（メッセージ）
- 12/10 西岡まり子師講演会 ☆
- 12/11 西岡まり子師礼拝説教・分科会（午後） ☆
- 12/18 洗礼式 ☆
- 12/24 クリスマスピザパーティー ☆  
イブ賛美礼拝（夜）
- 12/25 クリスマス祝会（午後）
- 12/30-1/6 冬季休暇

※一部抜粋

12月も様々なイベントがあったので、☆印の  
み、報告したいと思います。

## 12月10日は、西岡

まり子師をお招きしての  
講演会がありました。西  
岡先生は、子育てや結婚  
カウンセリングの働きを  
されていて、牧師夫人の  
傍ら週末にベビーシッターをしたり、全国をまわ  
って講演活動などをされています。



今回は、「ヤダとい  
子、ダメという親、ど  
ちらが最初？～素直な優  
しい心、育っています  
か？～」というテーマで  
講演をしていただきました。



人間は、大人になっていくと子どもの頃の気持ち  
やその時の状態を忘れてしまいます。だからこそ、  
子どもの言い分が理解できなくてイライラしてしま  
ったり、「こうあるべきだ」という枠の中に押し込  
めようとして、「ダメ」という発言が多くなってし  
まいがちです。正論を押し付けるのではなく、まず  
「ヤダ」を受け止めてあげること、「しつけ」とい  
う枠の中に押し込むのではなく、愛と思いやりを伝  
えることが一番大事なことである…と教えていた  
だきました。

written by manyamo

西岡先生は、次の日の礼拝でもメッセージをしてくださり、午後からは「教会と親ができる進行継承のサポート」について、分科会のときをもちました。



◀分科会は、グループに分かれてのディスカッション形式で行いました。普段なかなか話すことのできない教会でのしつけ・礼拝のことについても意見を交わしました。

私の中で衝撃的だったのは、「子どもに正論を言わない」ということでした。正論をぶつてしまうと、本音にたどり着けなくなってしまう…。どんな思いだったのか、どうしたかったのか。不満が出ることで、心の中が整理されていくそうです。これは、子どもに限らず中高生や大人にも言えることだな…と思いました。

また、個人的なことですが西岡先生は私の友人のお母様ということもあり、実は会えるのを密かに楽しみにしていました…。(笑)今回、会うことができ感謝でした^^

また、12月18日には洗礼式が行われました。

今回受洗したのは、中学3年生のSくん。彼はクリスチャンではない家庭に育ち、教会でMEBIGの働きを始めてから、友達に誘われて教会に来始めたそうです。



そんなSくんが受洗するという事は、約6年間続けて来たMEBIGの種まきが、初めて実を結んだ瞬間でもある…ということ。私自身、Sくん

とは1年半ほどしか関わっていませんが、とても感慨深い思いにさせられました。

毎月イベントをするのは、とても大変なことですし、その時に来るおともだちが、必ずしもイエス様を信じる…という確証はありません。でも、毎月続けてきたイベントが、教会で送り出したキャンプが、そして毎週の礼拝が…Sくんを救いに導ききっかけになったことは、間違いありません。

私たちには、どこでどう神様が働いてくださるのか、わかりません。今回、Sくんが受洗したことで、わからない中でも種を撒き続けることの大切さを教えられた気がします。「何のためにやっているイベントなのか」という原点に立ち返りつつ、これからも福音の種を撒き続けたいと思われました。

そして、24日には「クリスマスピザパーティー」が行われました。

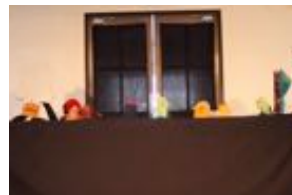


◀久しぶりに救いの汽車じゃんけんもしました。賛美をしながらじゃんけんをして、負けたらその人の後ろに繋がっていきます。長くなってくると動きづらくて大変…。



◀ある程度列ができれば司会者から整列の号令が!スクリーンには2・4・5の数字が映し出され、先頭の子から数えて2・4・5番目の子はお菓子をGET!!

今回の目玉は、なんといってもおともだちによる人形劇。10月から毎週お昼に集まって練習を重ねてきました。



この日のために練習してきた「アリとキリギリス」のお話は、皆さんもよく知っていると思いますが、結末がちょっとだけ違います…というお話しを、前号でさせていただきました。

一般的に知られている結末は、遊んでばかりのキリギリスが、冬になって食べ物がないのに困り果て、せっせと夏からご飯を蓄えていたアリさんに助けを求めてご飯を分けてもらい、無事に冬を越すことができた…というもの。

しかし今回の人形劇では、助けを求めに来たキリギリスに、自分の持っていた食べ物を全て分け与え、そのせいでアリさんは冬を越すことができず…それでも命をかけてキリギリスを助けた…。それがイエス様なんだよ、という聖書のメッセージを込めて演じました。

本番直前に胃腸風邪が流行り始め、当日も出演するおともだちが来れるかどうか!?!とハラハラする場面もありましたが、



無事に全員集って人形劇を披露することができました。

私は人形劇の後、5分程度時間をいただいてショートメッセージをさせていただきました。



夏に遊び呆けて、一生懸命食べ物を蓄えていたアリさんを馬鹿にしていたキリギリスさん。人形劇では、キリギリスが他の動物たちから注意勧告を受けるも、逆ギレして殴ろうとするようなシーンも描かれました。そんなキリギリスのように、私たちにも自分勝手な心、わがままな心があるということ、罪を持っているということ。そして、私たちの汚れた心を洗い流すために来てくれたのがイエス様なんだ、ということをお話しました。

私自身、メッセージを準備しながら、クリスマスの意味をもう一度おぼえることができ、感謝でした。

また、今回は親子での参加が多く、お子さんを連れて来てくれたお母さん方も微笑ましく、そして時には真剣に人形劇を鑑賞してくれたことも印象的でした。

何よりも、26名のおともだちに本当のクリスマスの意味を伝えることができ、感謝です^^

そして！！お待ちかねのピザパーティー！！！！



◀今回の人形劇では、裏方役でも活躍してくれた女子チーム。みんなのお陰で、個性あふれる素晴らしい人形劇になりました^^ありがとう～



◀アリさん役をしてくれたTくん。いつどの場面でも何が必要なのか、誰よりもよく分かっている、頼もしい存在でした。本番の演技も◎



◀中高生のお兄さんたちも人形劇やバンドに参加してくれました^^  
また一緒にやろうね～



◀午後は大人も混じってポーズじゃんけん大会!景品はBIGサイズのポテチや、31の商品券、無印用品など大人も大喜びのもの。白熱しました!!!



◀GETした景品を早速見せに来てくれました^^  
は!!スッパイマン(干し梅)がこんなに…!いいな～(実は干し梅大好きなんです;)



◀そして突然こんなものも現れました…!そう、みんな大好きお菓子の家!登場した瞬間からおともだちの視線は釘付けに。完成度が素晴らしく高い!



◀完成度が素晴らしく高いといえば、母からはこんなものが送られてきました。このオナク、全部クッキーで出来てるらしいです(母自作)同じものが宅急便で届きました(笑)

2016年のクリスマスは、いつも以上に忙しかったように思いますが、毎週のようにイベントがあったからこそ、その度にクリスマスをおぼえることができた感謝なときでもありました。

偶然ですが、私が洗礼を受けた2005年12月25日も、2016年同様にちょうどクリスマスの日が日曜日でした。受洗して11年経ちましたが、クリスマスになると毎年当時のことを思い出します。受洗の前の週に父と大喧嘩したこと、こんな自分が洗礼を受けるに相応しくないと罪悪感を感じながら1週間を過ごしたこと、受洗当日に教会に行くと洗礼槽からお湯が出ず、真水で洗礼を受けたこと…。(しかも真冬の北海道で;)

当時は次から次へと起こる予想外の出来事を受け止めることに必死でしたが、今では「あんなこともあったなあ。こんなこともあったなあ…。」と、懐かしく思います。(笑)

当然のことですが、当時はまさか自分が教会のフルタイムスタッフになるとは思いもしませんでした。これから先もどうなっていくのか全くわからない途上にいますが、この1年も神様に従っていきたいと思います。

## -1月の予定-

1/8 分級担当

1/22 ユース礼拝(メッセージ)

※一部抜粋

1月はイベントもなく、来年度に向けた準備期間になります。良い知恵が与えられ、中高生を導いていけるようにお祈りください。

written by manyamo